

予算決算常任委員会を設置！

—より充実した議案審査を行うため、常任委員会を再編—

総務常任委員会、産業建設常任委員会、文教厚生常任委員会の3委員会を総務産業建設常任委員会と文教厚生常任委員会の2つの委員会に再編し、新たに全議員が委員となる予算決算常任委員会を設置しました。

予算議案は、今まで3つの委員会でそれぞれの分野を審査していましたが、今後は予算を分けることなく全体的な視点で審査することができ、予算審議の更なる充実を図ります。

また、予算を審査した全ての議員が決算も審査できることになるので、予算が適正に使われたかどうか、より詳細に審査することができます。

前列右から大曾根議員、松村副委員長、高橋委員長、近藤議員
後列右から持田議員、齋藤議員、漆畑議員、長谷川議員、山中議員



総務産業建設常任委員会

前列右から内野議員、大野副委員長、杉田委員長、金泉議員
後列右から高田議員、藤原議員、出雲議員、松尾議員、五伝木議員



文教厚生常任委員会

全議員が委員となります。
委員長…五伝木議員、
副委員長…内野議員



予算決算常任委員会

Q

鶴ヶ島市の観光ビジョンについて

内野 嘉広 議員



A

地域資源を生かした魅力ある地域づくりを進める

質問一 観光資源の現状と今後の方向性について。

二 レインボー協議会における広域観光と発展について。

三 観光を含め地域振興に向けたPRについて。

四 近隣市のオリンピックピックゴルフ競技の開催等、イベントを活用し

た知名度アップについて。

五 観光を意識した、特色ある特産品の創出拡充について。

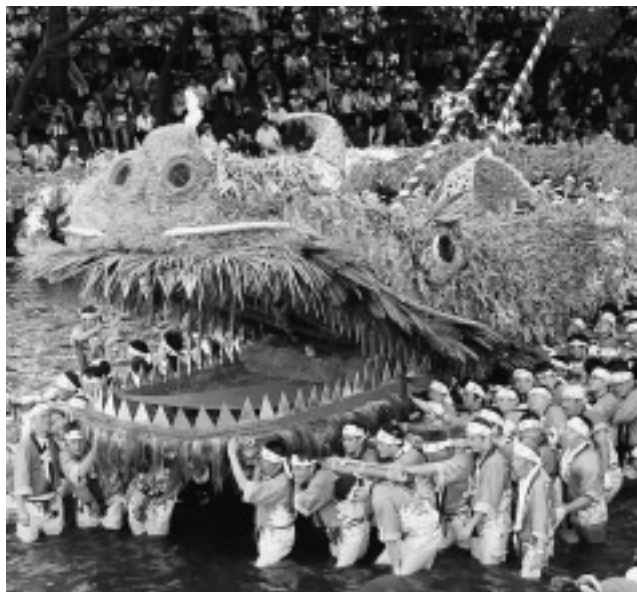
答弁一(市長) 高倉には、屋敷林や水辺等の農村景観がある。また、脚折雨乞はイベント大賞を受賞した。これらの地域資源を生かして魅力ある地域づくりを進める。

二 広域観光キャンペーンやレインボーまつりを通じ、ゆるキャラやご当地グルメ等を紹介している。今後も構成市町と連携し、広域観光の発展を目指す。

三 脚折雨乞を年間を通じた観光イベントとして検討していく。また、あらゆる機会でするゴンを積極的に活用してPRしていく。

四 レインボー構成市町と相互に連携し、国内外に向けたPRの仕方を検討していく。

五 産・学・官連携のサフラン・スーパースポーターズをつくり活躍している。生産体制と販路を確立していく。



ふるさとイベント大賞を受賞した脚折雨乞